



千鳥の杜学園 松江一中だより

第 11 号 令和 8 年 2 月 24 日（火）発行
校長：神谷 祥久

学校評価 ご協力いただきありがとうございました！

2月13日（金）第3回の学校運営協議会を開催し、委員の皆様にご協力いただき、学校経営についてご意見をいただきました。保護者の皆様におかれましても、昨年の12月にはアンケートにご回答いただき大変お世話になりました。項目別の数値等を掲載しておりますので、ご確認ください。いただきましたご意見は、今後の学校経営に生かしてまいります。

令和7年度 学校評価						
【学力の育成】	目標達成の取組	評価項目	A:85%以上 B:70%~85% C:70%未満			関係者
			生徒	保護者	教職員	
①基礎学力の定着と学び方の習得	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎的・基本的事項の定着のための授業改善と基礎力テストの計画的・効果的实施 ◆学力調査の分析を授業改善に生かしている ◆学習習慣確立のための支援 	生徒(あなた)は、学校での教科の学習に、意欲的かつ継続的に取り組みましたか。	A 86%	C 65%	A 88%	A 90%
		先生たちは、熱意をもって学習指導をしていますか。	A 87%	A 87%	A 100%	
②学ぶ楽しさ、追究する楽しさを感じる「わかる授業」の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◆「話す」「聞く」「話し合う」「調べ、まとめ、発表する」など対話的、探究的な学習活動の充実 ◆個別最適化された学びの充実 ◆ICT機器や学校図書館を活用した授業づくり 	生徒(あなた)は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	A 88%	B 82%	A 90%	A 90%
		先生たちは、電子黒板などのICT機器や学校図書館を活用したわかりやすい授業づくりをしていますか。	A 86%	A 87%	A 100%	
③将来への希望をもち、主体的な進路選択ができる力の育成	◆職場体験学習・進路指導の充実	生徒(あなた)は、授業で扱う内容だけでなく、様々な事柄について興味や関心を抱き、もっと深く知りたい調べたいと思い、自ら考えたり学んだりしましたか。	B 72%	C 47%	C 49%	C 62%
【社会力の育成】	目標達成の取組	評価項目	生徒	保護者	教職員	関係者
①社会とのつながりの中で知る自分らしさや多様性への理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援教育の視点をすべての教育活動に生かす ◆性に関する指導の充実 	生徒(あなた)は、多様な価値観を認め、豊かな人間関係を築くことができましたか。	A 91%	A 87%	C 67%	A 95%
		生徒(あなた)は、学校生活をとおして、将来的に社会に貢献する力を身につけつつあると思いますか。	A 86%	B 74%	B 71%	
②自然・文化・伝統・産業や地域の人のよさを感じる心の育成	◆まつえ探検、職場体験学習、福祉体験等の体験学習の充実	生徒(あなた)は、学校や社会のルールを守ることができましたか。	A 94%	A 87%	C 48%	B 76%
		生徒(あなた)は、社会人として期待されるあいさつ、言葉づかいなどのふるまいを、あたりまえの習慣として行うことができていますか。	A 88%	B 77%	C 23%	
【人間力の育成】	目標達成の取組	評価項目	生徒	保護者	教職員	関係者
①所属感、自己有用感、自己肯定感の醸成を図る場の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆学級・学年経営の充実、集団づくりの充実 ◆生徒の自主性、自立性を育てる生徒会活動の充実 	生徒(あなた)は、学校での教科の学習以外の活動に積極的に取り組みましたか。(学校行事〔体育祭、合唱コンクールなど〕、生徒会活動、部活動、弁論大会、清掃、ボランティア活動など)	A 91%	A 89%	A 98%	A 100%
		生徒(あなた)は、他人を思いやる心をもって人に接することができましたか。	A 92%	A 91%	B 77%	
②生徒の人権意識の高揚と相手を意識した、助け合い・認め合い・支え合う人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆全教育活動を通して進める人権教育の立案と実施 ◆道徳科を核とする道徳教育の充実 	生徒(あなた)は、他人との関係や集団生活をうまくやっていくことができましたか。	A 90%	A 87%	B 82%	A 90%
		本校は、悩み事や心配事を相談しやすいですか。	C 62%	B 76%	A 88%	
③生徒理解の深化といじめ問題の根絶	<ul style="list-style-type: none"> ◆アンケートQUの活用と教育相談活動の充実 ◆いじめ防止基本方針に則った対応 ◆いじめ未然防止の取組、早期発見の取組 	本校は、人権が保障され安心して生活できる学校ですか。	B 79%	A 86%	B 75%	B 81%
		【保護者・地域との連携】	目標達成の取組	評価項目	生徒	
◆学校だより、学年だより、学級だよりの定期的な発行、ホームページ等による積極的な情報発信 ◆PTA役員会等での情報交換の充実 ◆授業支援ボランティアの積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校だより、学年だより、学級だよりの定期的な発行、ホームページ等による積極的な情報発信 ◆PTA役員会等での情報交換の充実 ◆授業支援ボランティアの積極的活用 	本校は、学校・学年・学級だよりやホームページ、掲示板などを通して、保護者や生徒に学校の様子を積極的に知らせていますか。	A 88%	A 87%	A 98%	A 100%

学校運営協議会でいただきましたご意見の一部をまとめましたので、ご確認いただきますと幸いです。

前年度と比較し、生徒・保護者・教職員ともに評価が向上したことは良いことである。社会力の育成に関する項目で生徒・保護者と教職員の評価に大きな隔たりが見られることは、教職員が一部のできていない状況に目が行き過ぎているのではないかと、細やかな目配りは大切であるが大局的にみることも大切とのご意見をいただきました。さらに、各項目における生徒の判断基準について教職員と話し合いをもつ場をもっていても良いのではないかと、新しい視点をいただきました。ぜひとも次年度は、判断基準についての話し合いを行ってまいりたいと思います。



【学力の育成】

「学ぶ楽しさ、追究する楽しさを感じる『わかる授業』の展開」において保護者・教職員ともにA評価が増えたことは大変うれしいことです。昨年度から本格的に行っているスリンプル・プログラムの成果であり、教員・生徒が一人ひとりの考えを聴く姿勢、認め合う姿勢をもって話し合うことができるようになったことの現れであると考えています。「将来への希望をもち、主体的な進路選択ができる力の育成」については、更なる手立てを行ってまいります。授業で学んだことが社会でどのように生かされているのかを意識した授業の展開、日々の家庭学習で行っている自学ノートの充実、学校の学びを社会で生かす場として公民館活動の更なる充実の依頼（子どもチャレンジやほっき人プロジェクトなど）を検討しています。

【社会力の育成】

「健康で安全な生活と基本的生活習慣の確立」については、特に教職員の評価が低いものとなりました。前年度と比較すると、遅刻する生徒も減っており大半の生徒が学校のルールを守り穏やかに学校生活を送っていると感じています。しかしながら、登下校時の交通安全に係る意識は低いと言わざるを得ません。狭い道を自転車で並進し、運転手の方々にご迷惑をかけたりすることが度々ありました。今年の4月1日から道路交通法が改正され、自転車の交通違反の取り締まり（16歳以上）が厳しくなります。自分の命を守ること、他者の命も大切に考えることができるよう、これまでは入学時に実施していた交通安全教室を全学年に拡大し、更なる充実を図ってまいります。

【人間力の育成】

「生徒理解の深化といじめ問題の根絶」という点において、「悩み事や心配事を相談しやすいか」という項目の生徒評価が前年度同様「C」であることは大きな課題です。本年度は90%以上を目標に掲げ、教職員一人ひとりが意識しながら取り組んでまいりました。教職員の自己評価は向上しておりますが、生徒の評価との乖離があります。教育相談のあり方や効果的なアンケート調査の実施などの検討だけでなく、どのような状況であれば相談しやすいのか生徒会役員との話し合いを重ねてまいります。併せて、「相手の立場に立って物事を考える」という意識をこれまで以上に感じられる場面を創り、一人ひとりが大切にされる学校、人権意識の高い学校づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆様からの自由記述について

複数の保護者の皆さまから本校の教育活動について、貴重なご意見をいただきました。温かい感謝のお言葉もいただいておりますが、いじめ問題への対応や登下校中の生徒の安全意識、商業施設への立ち寄りなど真摯に受け止め改善を図るべき内容もありました。今後改善を図ってまいります。

○部活動について

指導者の生徒に対する当たりがきついことがあるとのご指摘をいただきました。地域移行・地域展開も言われておりますが、指導者の確保・練習時間等運営面での課題など難しい問題もあります。何よりも、生徒の普段の様子をよく知っており、性格もわかった教職員が指導することは生徒の成長に大きく寄与するものと思っております。我々教職員にとりましても、部活動は授業とは異なる生徒の新しい一面を発見できる場でもあります。生徒一人ひとりの良さが発揮できるよう、指導者の接し方について改めて指導してまいります。

○SNS等の取扱いについて

SNSは、相手の都合に合わせる必要なく送っておくことができるメリットがあります。しかしながら、すぐに返事を返そうとすると目が離せなくなってしまいます。自分の時間を有効に使うこと、相手の生活を制限しないことを考えた場合、節度ある使用を心がけたいものです。また、生徒には実体験を大切にしてほしいと思っております。ご家庭でも話し合いの時間をとっていただきますようお願いいたします。

今年度もあとひと月余りとなりました。今学期の始業式で生徒に話をしましたが、年度初めに立てた目標の達成に向け、最後までやり遂げることを大切にし、「有終の美を飾る」ことができるよう、学校全体で取り組んでまいります。